



# 競技注意事項

2026 愛知選手権

- 1 本大会は、2026年WA規則・競技会規程を適用し、日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。ただし競歩、投てき種目は除外する。競技会における広告および展示物に関する規程は日本陸上競技連盟競技規則を適用する。

## 2 アスリートビブスについて

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。
- (2)走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3)走幅跳、三段跳は胸だけでもよい。
- (4)トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。(100mから400mまでは腰ナンバー標識は付けない)
- (5)腰ナンバー標識はフィニッシュ後、係に返却する。

## 3 競技場への入退場について

- (1)競技者は、アスリートビブスを提示し、フィニッシュ地点付近の南ゲート、もしくは水濠後方付近の北ゲートから入退場する。
- (2)各団体監督、マネージャー、保護者は2階南入口からスタンドに入る。選手・審判・補助員以外はグラウンドに立ち入ることはできない。

**スタンドからグラウンドに降りることは出来ない**

## 4 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみです）

- (1)北陸上競技場のトラックをウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、**7時30分から8時45分**まで使用できる。  
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードルハードルを使用した場合は、確実に片付けること。  
※9時00分以降も競技の進行に支障がない範囲でバックストレートを使用できる。
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。  
**※地下駐車場、野球場の軒下での場所取り、ウォーミングアップは厳禁。**

## 5 招集について

- (1)招集所は、第3コーナー倉庫に設ける。競技者は招集完了の後、競技場所に移動する。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前 ※棒高跳100分前	40分前 ※棒高跳 90分前

- (4)他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

## 6 レーン・試技順について

トラック競技のレーン及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

## 7 競技について

### (1) トラック競技について

- ①すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。

### (2) フィールド競技について

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。  
(競技規則TR6)
- (4) 三段跳の踏切板の位置は、男子13m、女子10mで競技を行う。
- (5) 複数種目に同時申し込みを行っている走高跳および棒高跳の選手については、試技を行うべき順序の際に競技者が不在の場合は、パス扱いとする。  
「走高跳および棒高跳においては、事前に申告すれば無効試技扱いとすることができる。但し、ワールドランキングコンペティションでは、パス扱いとしなければならない。」(TR4.3)

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方 (ただし、天候等の状況により変更することがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	
女子走高跳	1m45又は1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後3cm
男子走高跳	1m80又は2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後3cm
女子棒高跳	2m20又は2m60	2m22	2m42	2m62	2m72	2m82	2m92	以後10cm
男子棒高跳	4m10又は4m80	4m12	4m32	4m52	4m72	4m82	4m92	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※棒高跳は、競技場所で棒高跳支柱位置申請を口頭で行う。

## 9 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールとやりは、個人所有のものが使用できる。やりの持ち込みは、各競技者2本まで認める。やりの持ち込みを希望する者は、招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻の30分前までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けること。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、すべての参加者が使用できることとする。（競技規則TR32.2）

## 10 競技用靴について (競技規則TR5 参照)

スパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイク取付け位置11か所以内とする。靴底の最大の厚さ（購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む）は、20mm以内とする。ただし競歩競技は40mmまでとする。  
サークルで実施する投てき種目のシューズ制限は除外する。(2026年4月10日～陸連改正)

## 11 表彰について

- (1)各種目1～8位に賞状を授与する。
- (2)入賞者は成績発表後、1位～3位に入賞した選手は表彰式をグラウンドで行う。4位以下はスタジオ(北競技場西側の研修棟1階)に賞状を取りに来ること。

## 12 東海選手権大会の申込について

この大会の**8位までの入賞者**に参加資格が与えられる。東海選手権への出場か欠場かを必ず東海大会受付まで報告する。

**出場を希望する競技者は7月19日(日)最終種目の結果発表後30分以内までに参加料を添えて申込を完了すること。過日終了のリレー・長距離種目についても同様に申し込む。申込場所は北陸上競技場西側(研修棟1階)のスタジオ内にある。**

## 13 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

- (1)開門前に早くから並ばないこと。
- (2)競技場北側にテントなどを設営する場合は、競技場側のみ許可する(住宅側には設営しないこと)。周辺住民の迷惑になるので、住宅の門や駐車場前の駐停車はしないこと。また、早朝より大きな声の挨拶や大きな音を立てないように十分注意すること。
- (3)清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。競技場周辺のコンビニエンスストア・自動販売機・地下鉄の駅などにごみを捨てないでください。自宅への持ち帰りにご協力ください。

## 14 その他

- (1)本大会は記録速報(QRコード)を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、**訂正があれば本部に申し出ること。**
- (2)アナウンスされた時刻を競技結果の発表時刻とする。
- (3)競技場に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合は、競技規則に準ずる。
- (4)貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (5)応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (6)記録証は、記録室へ500円(送料込み)を添えて申し込む。
- (7)個人情報の扱いについて

愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

- (8)カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校関係者のみとする。

### 観客席からの撮影制限について

- ① スマートフォン・タブレット端末のみ撮影可能とします。  
※撮影禁止エリアでは、撮影禁止です。
- ② 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。
  - ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
  - ・走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- ③ 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ④ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ⑤ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。